

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイジンジャパン 試作可小ロット 量産対応



粘度の高いチョコレートの、均一化されたカーテンが美しいコーティングを生みだす

加藤工業 株式会社

確固たる溶接技術で培った 食品設備機器製造で 異業種にも挑戦する

技術とサービスで
取引先との信頼関係を築く
「顧客第一主義」

植物油製造プラント設備工事会社として創業した加藤工業。食品産業を中心に、塗装メーカーや消化設備メーカー等の製造装置のラインを生産してきた。中でも製缶技術や溶接技術には定評がある。社員数30名のうち、ボイラー溶接士4名が在籍。中には国内の溶接コンクールで上位に入賞する腕前の社員もいる。同社の製品を目にし、それがヒトの手による溶接と知り驚く人も少なくないという。そんな高いレベルの溶接技術を保持している同社は、技術者の現場離れが深刻化しているものづくり業界にあって、匠の技術を若手へと伝承するベースも着実に確立している。

またライン生産設備の受注が多いため、設計から製造・組立・塗装・据付・試運転の立会いまで、一貫した体制を整えたクライアントへの迅速な対応には自信を持つ。取引歴が数十年の納入先が大半を占めるという点も「顧客第一主義」を常に心がけ、製品とサービスの品質向上をめざし、真摯に対応している姿勢が表れている証拠なのではないだろうか。

マシンファクトリー発の チョコレート支社が登場

長年、食品製造装置に携わってきた経験を活かし、新たな事業を展開しはじめたのが、チョコレート支社（Chocolate branch（仮称））だ。これまで培ってきたチョコレート製造機器のノウハウを利用し、コンパクト化した製造機器の販売と



工場前に構える「加藤工業チョコレート支社」
「Chocolate branch」（仮称）

同時にチョコレート販売を行う。大型機器の技術を店舗用に応用し、使い勝手を改良。店舗用オリジナルチョコレートの量産ができる機器であることをプレゼンテーションしつつ、同時に独自ブランドでチョコレート自体も販売する。という新たなビジネスモデルだ。

また、設備機器メーカーとしては珍しく、京都大学経営管理大学院（経営管理修士課程）との産学連携で共同開発するというユニークな取り組みも特筆すべき点だ。ものづくり企業であれば技術的な面での産学連携が多い中、あえて経営学との連携を選択した、加藤社長の経営者としての着眼点に注目したい。

今後は、世界的なインフラも視野に入れ、手始めに工場内へチョコレート支社となる店舗を開設する予定だ。工場発のチョコレート工房として、そのギャップもあえてブランディングしながら発売する。これからも、本業である設備機器製作を誠実に行うことはもちろんのこと、食品開発という今までは違うマーケティング分野の研究を行い、さらなる飛躍をめざす加藤工業。今後の跳躍力に期待が寄せられる。

Company Profile

加藤工業株式会社

住所 〒561-0807
豊中市原田中1-17-5
TEL 06-6841-3300
FAX 06-6841-9504
設立 昭和46年12月20日
資本金 3,000万円
従業員 30名
代表取締役 加藤 智一

■主な事業内容
食品用、化学用機械設計・製造・据付

■主な取引先
大手食品メーカー、塗料メーカー、
消火設備メーカー 等

<http://www14.ocn.ne.jp/~kato3300>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

食品製造機器なら、
設計・製造からメンテナンスまで
一貫体制で信頼される企業をめざします

代表取締役 加藤 智一 さん



「顧客第一主義」を心がけ、製品・サービスの品質向上をめざした結果、数十年來のお得意様が大半を占めている弊社。新規設備の設計・製造からメンテナンスまで、常にお客様の生産環境に気を配り、信頼力による成長をめざしたいと願っています。